

Silicon Flatirons2024 要旨

2月4日～5日（2日間）開催。コロラド州現司法長官のフィル・ワイザー教授が1999年に設立したセンターが、学生や起業家、政策立案者、専門家を育成するために学際的なイベントやプログラムを定期開催しており、毎年2月に2日間開催されるFlagship Conferenceが今回のイベント。参加者約200名に加え、オンラインでの参加もあった。今年のテーマは“Global Fractures in Technology Policy”。

米国の通信政策動向を知る上で大変重要な会議であり、2004年2月の会議で当時FCC委員長を務めていたマイケル・パウエル氏が4つの「インターネットの自由」を提唱したが、この原則がその後の米国におけるネット中立性議論の底流を決定し、翌年8月に政策化されている。

今回、競争政策に関するパネルでは、欧州のデジタル市場法はコスト増をもたらす消費へのメリットは期待できないといった批判や、AIについて政府が標準的な相互運用性を設定するとイノベーションを阻害しかねないといった指摘があった。

また、アナ・ゴメス氏（FCC）からは、ブロードバンドの恩恵を全利用者に届けるため、connectivityとinnovationが重要課題であるとのコメントや、ネイサン・サイミントン氏（FCC）からはインターネットに蔓延する誤情報への対応が米国と欧州で対照的であり、各国で対応が異なることによりスプリンターネットを招く可能性があり、競争政策についても各国の対応が異なることは問題であるとの意見も述べられた。

Silicon Flatirons カンファレンス の報告

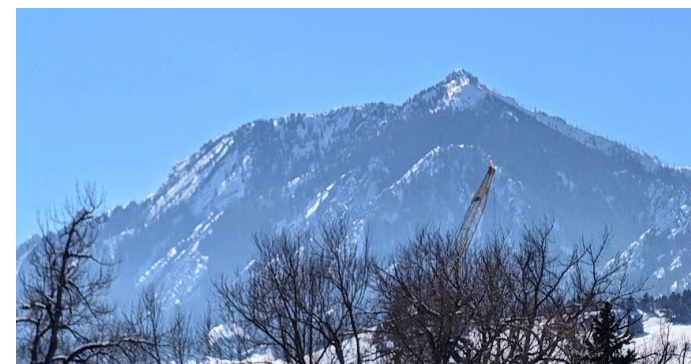
中央大学 実積寿也



Silicon Flatironsとは



- 1999年にコロラド州の現司法長官（Attorney General）であるPhil Weiser教授により設立。学生、起業家、政策立案者、専門家を対象に、学際的なイベントやプログラムを年間を通じて開催。イベントの中でFlagship Conferenceと称されるのが、毎年2月に二日間開催される本カンファレンス。
- 本年のテーマはGlobal Fractures in Technology Policy
 - 開催日時：2024年2月4日～5日
 - 開催場所：コロラド大学ロースクール
 - 参加者数：オフライン200名程度＋オンライン参加者
 - 今回開催されたパネルテーマは以下の通り
 - 競争政策、ネットワーク、LLM
 - 技術政策におけるグローバルな亀裂
 - 規制と人工知能
 - 嘘、ミスインフォメーション、ディープフェイクの規制
 - 上記以外に政府高官を招いたファイアサイドチャットが開催
 - Anna Gomez（FCC委員）
 - Nathan Simington（FCC委員）
 - Alan Davidson（NTIA次官）



米国の通信政策の動向を知るための重要な会議

2004年2月の会議でMichael Powell委員長は4つの「インターネットの自由」を提唱。

1. コンテンツに対するアクセスの自由 (Freedom to Access Content)
2. アプリケーション利用の自由 (Freedom to Use Applications)
3. 個人端末を接続する自由 (Freedom to Attach Personal Devices)
4. 契約情報を入手する自由 (Freedom to Obtain Service Plan Information)

この4つの原則はその後の米国におけるネット中立性議論の底流を決定、翌年8月のインターネット政策声明 (Internet Policy Statement) として政策化。

- FCCは「ブロードバンド普及を促進し、公共インターネットの開放性と相互接続性を維持・促進するため」の次に掲げる4原則 を採択
 1. 消費者は自らが選択する合法的コンテンツにアクセスする権利を有する.
 2. 消費者は法の執行の要請に服しつつ、自らが選択するアプリケーションやサービスを利用する権利を有する.
 3. 消費者はネットワークに損傷を与えないのであれば、自らが選択する合法的端末装置を接続する権利を有する.
 4. 消費者はネットワーク事業者、アプリケーションサービス事象者、コンテンツ事業者の間の競争を享受する権利を有する.



Competition Policy, Networks, and Large Language Models (LLMs)

Christopher Yoo教授 (Pennsylvania大)

- FTCが2023年末に発出した新合併ガイドラインは、従来の水平合併・垂直合併の観点に加えて、全体のエコシステムを評価するアプローチを追加したため、従来の独占評価のやり方を変える必要がある。
- ネット中立性ルールはもはや事業者の懸念ではない。最大の懸念は周波数。
- 米国の固定ブロードバンド市場がより競争的になっていることは、TモバイルがComcastへの対抗広告を打っていること、衛星ブロードバンドが普及しつつあることから明らか。
- 欧州のDigital Market Actは競争よりも事前規制を指向するもので、コスト増をもたらし、消費者へのメリットは期待できない。
- 技術進化により、独占力の所在が変化する。アプリのクラウド化により、もはや端末上のOSシェアは問題とならない。今日では、エヌビディアがGPU市場で80%のシェアを享受。
 - ただし、AI市場は急拡大している段階なので、今の時点では参入障壁の有無だけを問題にすれば十分。
- 異なるAI同士のinteroperabilityは政府が関与する必要はなく、例えば、Amazon bedrockというサービスがその実現を民間主導で目指している。
 - むしろ政府が標準的なinteroperabilityを設定するとイノベーションを阻害しかねない

Richard Whitt (GLIA Foundation、元Google)

- 近未来は、特定個人のデータを中心に学習したPersonal Digital Agentが出現する。
- 機能発揮のためには、人間にかわってさまざまな行動ができる能力と、当該個人のために決定を下せる能力が必要。後者を証明するためには、AI同士の相互接続 (AI Interop) もしくは、信頼できる第三者機関による認証システムの導入が必要であると主張
- 公的標準が設定されてもそれがプレイヤーに採用されないことには意味がない。法律による強制よりも、政府調達条件としてインセンティブに訴えた方が良い。

Henry Hauser (Perkins Coie)

- AI市場における反競争的行為の問題と、AI利用企業が行う反競争的行為の問題は分けて議論する必要があり、後者の方が広範な市場に関連する



FIRESIDE CHAT- Anna Gomez, Commissioner, FCC

- 米国政府代表団を率いたWRC（世界無線通信会議）の交渉はコンセンサス方式であるため、相手国の優先順位を理解することが重要。FCCのそれと同じ。
- 周波数政策に関しては省庁間の協力が重要。バイデン政権が設置した新しいInteragency Spectrum Advisory Council（省庁間周波数諮問委員会）が新たな帯域開放に機能することを期待。
- ネット中立性ルールに関するNPRMが先週火曜日（1/30）に回覧されてきた。
- 自分自身にとっての重要課題
 - ブロードバンドの恩恵を全ての利用者に届けること。その観点から、connectivityとinnovationを重視している。
 - Public safetyの改善
 - 利用者全員が緊急通報システムを利用できるべき。
 - ローカルメディアの競争・多様性
 - 表現の自由の観点からはdiversityとlocalismは重要
 - 既存メディアが国民の信頼を喪失していることが問題
 - 歴史的に冷遇されてきたグループへの対応
 - まずはスペイン語コミュニティから
 - 消費者教育に関しても多言語化を進める
 - サイバーセキュリティ
 - FCCとしてcyber trust markを制度化



KEYNOTE/FIRESIDE CHAT- Nathan Simington, Commissioner, Commissioner, FCC

- 中国のネット検閲を批判
- インターネットには誤情報が蔓延しているが、それに対する対応は米国と欧州では対照的
 - EUは事業者には事前チェックを要求する一方、米国事業者は表現の自由を主張
 - 各国で対応が異なるとスプリンターネットを招く可能性あり
 - 競争政策についても各国で対応が異なるのは問題
 - 事業者に対策を求めることに加え、利用者側にも適切に対応してもらうことが必要
 - そのためのcyber trust mark
 - 当該製品のソフトウェアがどこでつくられて、データがどこに保存されるのかを明示
 - 連邦政府の調達に当該マークの取得を要求する
 - 取得は自主的なものであって義務付けではないのでスタートアップへの影響はないと思える。ただし、当該スタートアップがスケールする際には必要となるだろう。
 - 事業者を求める対策にしても、硬直的なチェックリスト方式になってしまうと技術進歩に対応できなくなる。
 - 消費者向けに自己拘束的な約束を表示させて、自発的に遵守させるという方法がベター

